



75 7 17



Canon 110ED

110E



使用説明書

日本語版

Canon110ED・110E

キヤノンの110カメラをお買上げくださいますようお願いいたします。

このカメラは110カートリッジフィルムを使用するポケットカメラで、最高の機能と最新の日付け写込み機構(110ED)をそなえています。ご使用前にはぜひ使用説明書をお読みいただき、その性能を十分ご活用くださるようお願いいたします。

性能

レンズ：キヤノンレンズ26mmF2 4群5枚構成(110ED)
キヤノンレンズ26mmF2.7 4群4枚構成(110E)

焦点調節：レンズ直進による距離計連動式(110ED)
目測式(110E)

EE連動範囲：ASA80でEV-1(8秒F2)～EV17(1/500秒F16)(110ED)

：ASA80でEVO(8秒F2.7)～EV17(1/500秒F16)(110E)

距離目盛り：0.6 1 3 10 ∞(m)
2 3 10 30 (ft)

(他にゾーンフォーカスマーク付)

シャッター：電気シャッター8秒～1/500秒

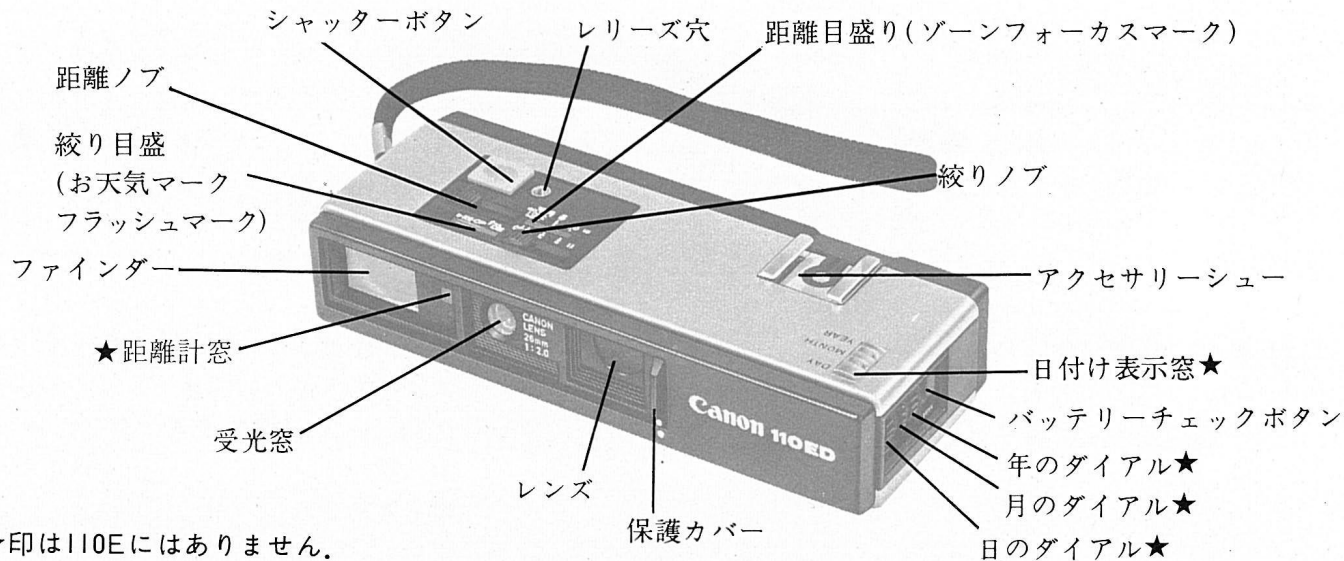
フラッシュオート機構：キヤノライトED使用により自動
ファインダー情報：距離計像(110ED), 近距離補正マ
ーク付き視野枠, 露出オーバー警告 (右側
赤)、手ぶれ警告兼バッテリーチェッカー
(左側黄色) 長時間露出中ランプも兼用
フィルム巻上げ：スライド式ノブによる1作動巻上げ式
フィルム装填：カートリッジ式
背蓋開放：ボディ背面のスライド式ノブ
保護カバー：ボディ前面スライド式およびシャッター
ボタン安全ロック機構付き
アクセサリシュー：フラッシュ直結接点付き

★日付機構(110ED)：年月日の写込み機構, デート
セットは左側面の切換えダイヤルセット

★日付表示(110ED)：年：74～84, 0～9 ■
月：1～12 ■
日：1～31 ■

大きさ・重量：142×55.5×28mm・295g (110ED)
133×55.5×28.5mm・240g (110E)

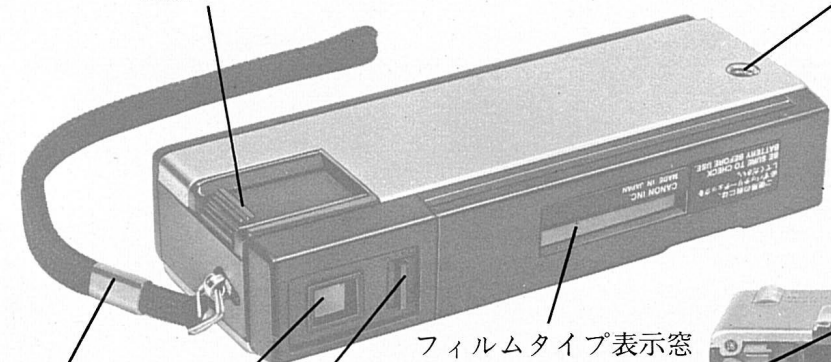
関連アクセサリ：キヤノライトED, ソフトケース,
スピードライトエクステンダー, レリー
ズ30, レリーズ50, セルフタイマー8 (手
ぶれ警告ランプが点灯する条件下では使
用できません)



★印は110Eにはありません。

巻上げノブ

三脚ねじ穴



電池室カバー

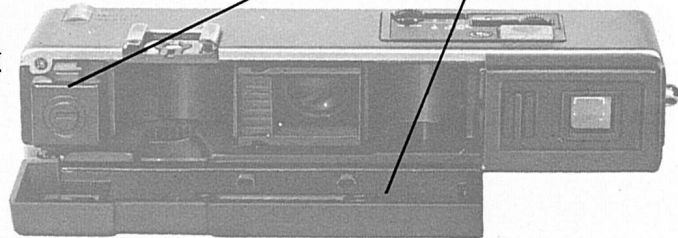
背蓋

フィルムタイプ表示窓

およびフィルム枚数計

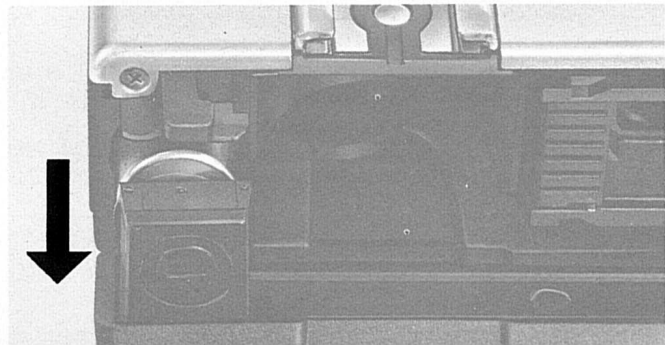
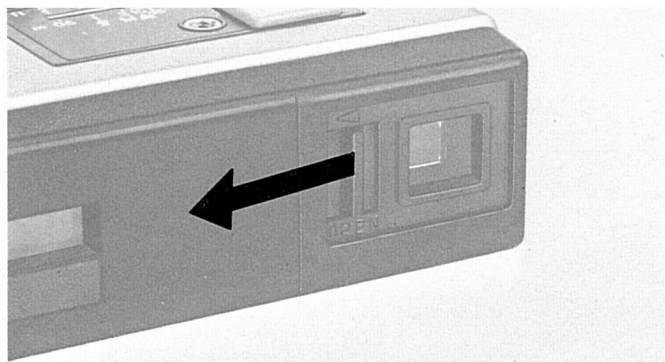
背蓋開閉ノブ

ファインダー接眼部



目次

1. 電池を入れる…………… 7
2. フィルムをつめる…………… 9
3. 日付けをセットする…………… 10
4. 保護カバーを開ける…………… 12
5. 絞り（お天気マーク）を合わせる…………… 13
6. 距離目盛を合わせる…………… 14
7. フィルムを巻上げる…………… 16
8. 構図をきめる…………… 17
9. シャッターボタンを押す…………… 18
10. フィルムの取出し方…………… 19
11. フラッシュオート撮影…………… 20
12. カメラの構え方…………… 22



電池を入れる

- 1 背蓋開閉ノブを矢印方向に押すと背蓋が開きます。
- 2 電池室カバーを手前に引きます。
- 3 背蓋内側の表示にしたがって、 \oplus \ominus の向きをまちがえないように電池を入れます。
- 4 電池室カバーを元の位置にさし込みます。

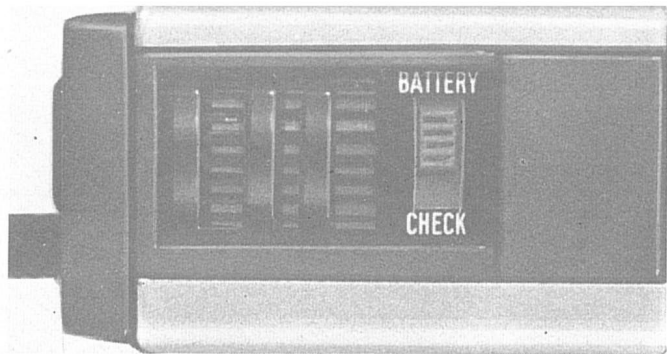
● -10°C 以下の低温では電池性能が低下しますので、低温地で使用する際はあらかじめカメラを保温しておいて、使用してください。

バッテリーチェック

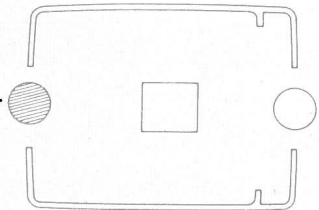
カメラ側面のバッテリーチェックボタンを押下げながらファインダーをのぞきます。左側の黄色いランプが点灯したら電圧が十分です。点灯しない場合は電圧不十分ですから銀電池を交換してください。

●電池がなくなるとシャッターが開かず写真が写りませんので、ご使用の前に必ずバッテリーチェックをしてください。

●電池は銀電池EVEREADY No.544 またはナショナル、東芝4G13(6V)を使用します。



バッテリーチェッカー兼
手ふれ警告ランプ
(点灯する)



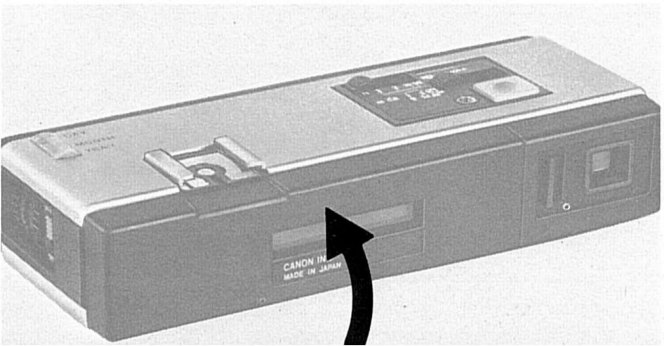


2 フィルムをつめる

1 背蓋を開き、フィルムカートリッジを写真のように入れます。

2 背蓋を押しつけて閉じます。

3 巻上げノブを動かなくなるまで繰り返し巻上げます。



3 日付けをセットする(110EDの場合)

デート（日付け）機構にはそれぞれつぎの数字が組込まれています。日付け表示窓を見ながらボディ左側面のダイヤルを回してセットしてください。

YEAR（年）0～9 74～84 ■

MONTH（月）1～12 ■

DAY（日）1～31 ■

●■印は何も写りませんので、日付けを写し込みたくないときには■印に合わせてください。





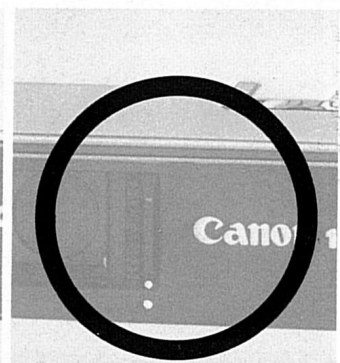
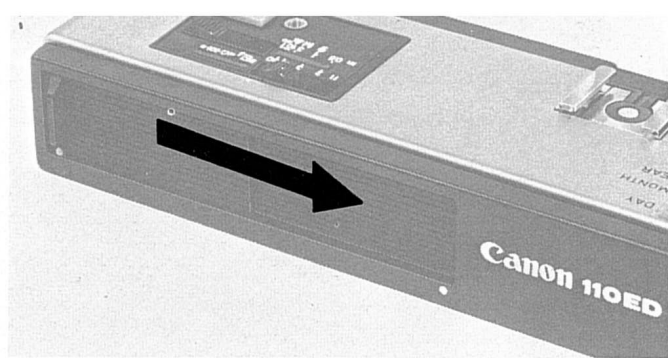
75 7 10
YEAR (年)
MONTH (月)
DAY (日)

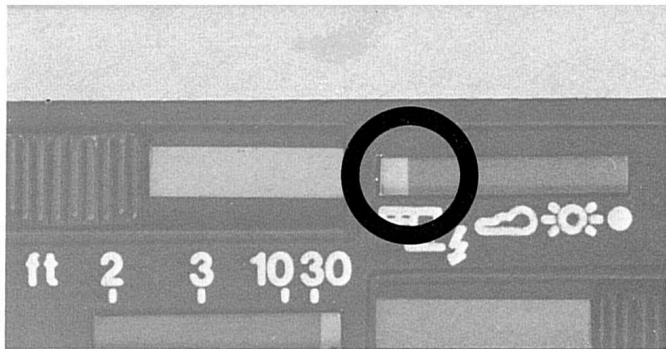
- 日付けは画面右下に、横位置で左から年月日の順に写し込まれます。
- 日付けはシャッターが切れたあとに写し込まれますから、ブレを防ぐためシャッターボタンから0.5秒以上指を離さないでください。
- 次の巻上げはシャッターボタンが完全にもどりきってから行なってください。早く巻上げると日付けが流れません。

4 保護カバーを開ける

- 1 保護カバーを開き、ボディの白点と保護カバーの白点を合わせます。

●保護カバーが完全に開かれていないとシャッターが落ちません。





5


絞り（お天気マーク）を合わせる



1

絞りノブを動かして、その時の条件に適したお天気マークに合わせます。

室内(F/2), 曇天(F/4), 晴天(F/8), (F/16)



●110Eの場合は室内  はF2.7です。

●複写などの近接撮影をする場合は、絞りを  マーク
又は  マークに絞ってください。

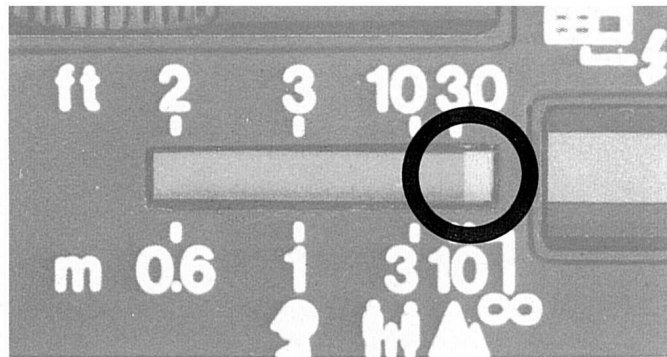
6 距離目盛りを合わせる

(110ED)

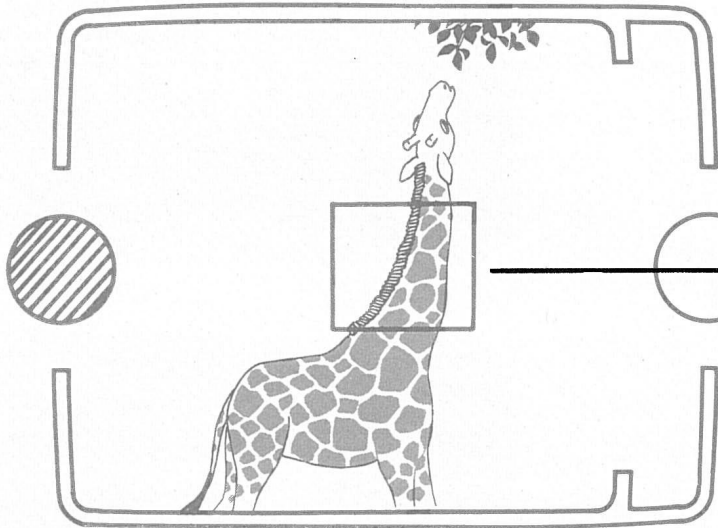
ファインダーをのぞいて距離ノブを動かし、被写体の二重像を合致させてピントを合わせます。

(110E)

距離ノブを動かして被写体までの距離に合わせます。



(110 ED)



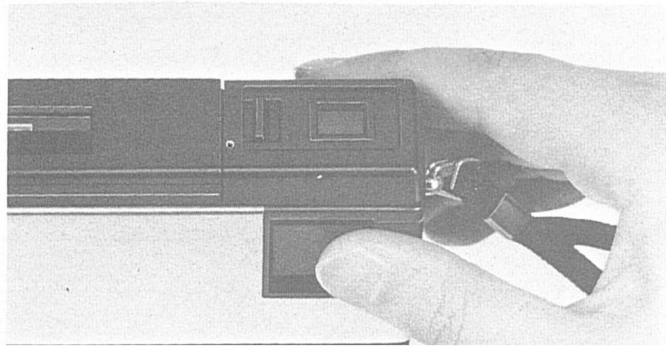
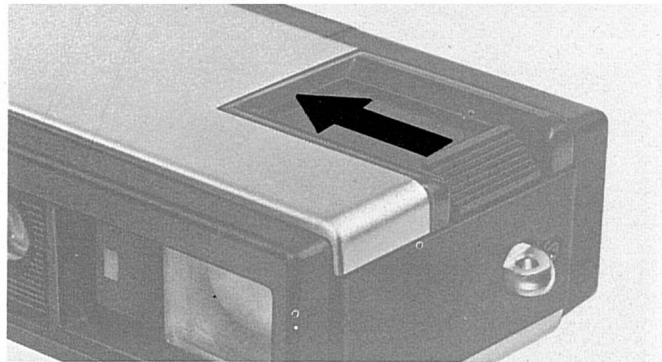
ピントが合っている

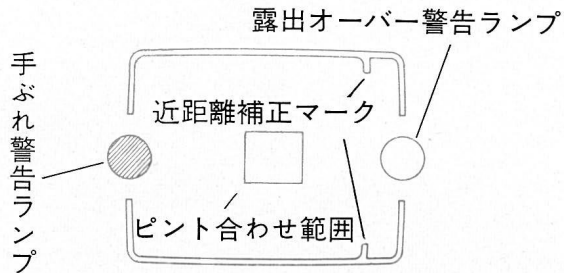


ピントがはずれている

7 フィルムを巻上げる

巻上げノブを矢印方向に1回押込みます。





近距離撮影範囲

8 構図をきめる

ファインダーをのぞいて構図を決めます。

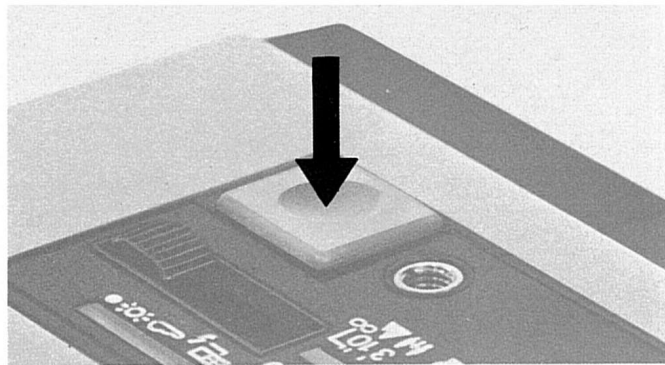
●画面サイズは外側の太枠ですが1m以内の撮影では、画面の全体が近距離補正マークから左に移動しますので、注意して構図をきめてください。

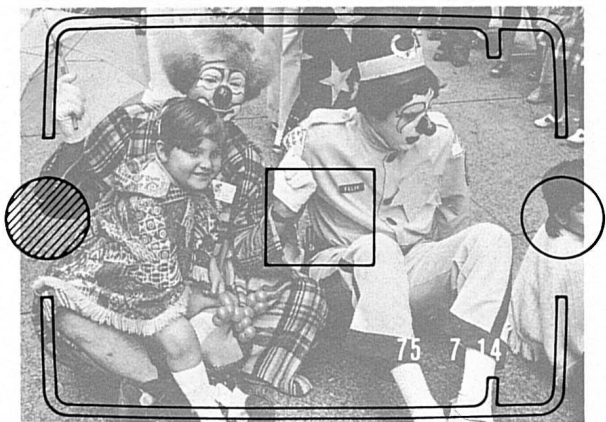
9 シャッターボタンを押す

ファインダーをのぞいてシャッターボタンを静かに押し
ます。

●手ぶれを防ぐために、カメラはしっかりと構えてくだ
さい。

●シャッターボタンを押して、ファインダー内右側に赤
ランプがついたときは明るすぎの露出オーバー警告です。
絞りを晴天マーク側にセットし直してください。ファイ
ンダー内左側に黄色ランプがついたときは、絞りを室内
マーク側にセットし直してください。それでも黄色ラン
プが点灯したままのときは、明るさが足りないので長時
間露出になるという手ぶれ警告です。三脚を使用するか、
フラッシュオート撮影に切り換えてください。





●長時間撮影の場合には、手ぶれ警告ランプが消えるまでシャッターボタンから指をはなさないでください。長時間撮影の場合は8秒まで保証します。

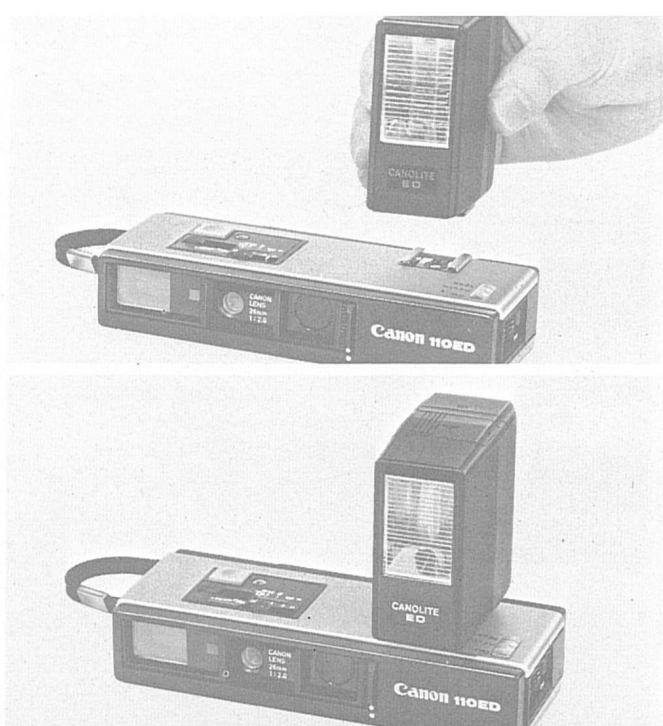
10 フィルムの取出し方

- 1 所定のフィルム枚数の撮影が終わったら、巻上げノブが動かなくなるまで繰り返し巻上げ、撮影フィルムが感光しないように完全に巻込みます。
- 2 カメラの裏ぶたをあけてカートリッジを取り出します。

II フラッシュオート撮影

専用スピードライトキャノライトEDを使用すれば、EE撮影同様の簡単さでフラッシュオート撮影ができます。

- 1 キヤノライトEDをアクセサリシューに取付けます。
- 2 絞り目盛りを室内マーク(☑)に合わせます。
キヤノライトEDのスイッチをONにし、ネオンランプの点灯を確かめます。
- 3 距離ノブを動かしてピント(110Eの場合は距離目盛り)を合わせます。
- 5 ファインダーをのぞいてシャッターボタンを押します。

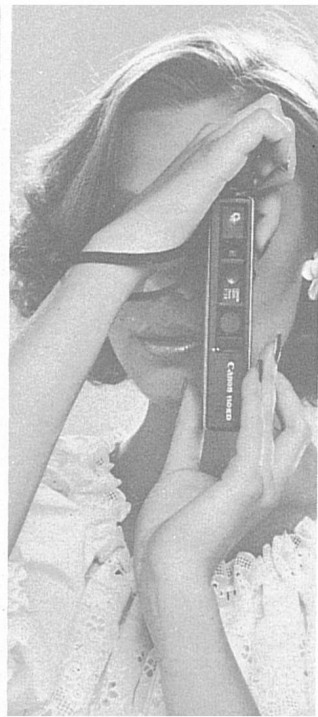




- キヤノライトEDを使用するときは0.8 m ~ 5 m の範囲内で撮影してください。
- 距離ノブを動かした後でキヤノライトEDを取付けるとき距離ノブが動くことがありますので、もう一度ピントを確認してください。
- フラッシュ撮影をしない場合には、必ずキヤノライトEDなどの発光器をはずして使用してください。
- キヤノライトED以外のスピードライトでも、直結接点付きのガイドナンバー14のものでしたら同様に使用できます。
- 一般にポケットカメラでフラッシュオート撮影をする時、条件によっては（特に暗い場所など）目が赤く写ることがありますので、カメラとスピードライトの間にエクステンダーのご使用をおすすめします。

12 カメラの構え方

- 1 両手でしっかりとカメラを持ちます。
- 2 横位置のときは両ひじを、縦位置のときは少なくとも一方のひじをピッタリと体につけます。
- 3 シャッターボタンを押すときカメラが動くとカメラブレの原因になります。親指と人さし指ではさむようにして静かに押してください。



カメラ取扱いの注意

- 1 ご使用の前には必ずバッテリーチェックをしてください。電池がなくなるとシャッターが開きません。
- 2 保護カバーを閉めるとシャッターボタンが押せない機構になっていますので、カメラをケースに入れるときは保護カバーを閉めてください。不完全な状態でシャッターボタンが押されると電池消耗を早めます。
- 3 キヤノライトEDを使用するときは、絞りノブを室内マーク (☑) にセットしてください。
- 4 フラッシュ撮影をしない場合には、必ず発光器やエクステンダーをはずして使用してください。
- 5 バッテリーは⊕⊖の向きをまちがえないように入れてください。

- 6 -10℃以下の低温地ではあらかじめカメラを保温しておいて、使用してください。
- 7 ガイドナンバー14の直結式ストロボはフラッシュオート撮影が可能です。
- 8 調光ストロボ（ガイドナンバー14）の場合はストロボをマニュアルにセットして使用してください。
- 9 カメラを使用しないときには電池を抜出しておいてください。長い間入れたままでしまっておきますと、電池漏液などでカメラ側の電池接点をいためるおそれがあります。
- 10 カメラの手入れ方法は、砂やほこりはブロワーで吹きとばすか、やわらかい布でそっと拭いてください。そして常温で湿気の少ないところを選んで保管してください。

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28

カメラ販売企画部(03) 455-9353

サービスステーション

札	幌	・(060)	札幌市中央区北三条西 4-1 (第一生命ビル 4 階)	(011) 231-1313	
仙	台	・(980)	仙台市一番町 1-1-30 (やまと生命仙台ビル 6 階)	(0222) 66-4151-7	
新	潟	・(950)	新潟市東大通 1-4-1 (マルタケビル 7 階)	(0252) 43-2111	
東	京	・(104)	東京都中央区銀座 5-9-9	(03) 573-7834	
横	浜	・(231)	横浜市中区南仲通り 4-39 (石橋ビル 1 階)	(045) 211-1691	
千	葉	・(280)	千葉市千葉港 4-3 (千葉県私学会館 4 階)	(0472) 43-9648	
大	宮	・(330)	大宮市桜木町 4-218 (共栄ビル 2 階)	(0486) 41-9122	
八	王	子	・(192)	八王子市八幡町 11-2 (八王子繊維貿易館)	(0426) 25-7511
静	岡	・(420)	静岡市鷹匠 2-7-2 (静米会館 1 階)	(0542) 55-2241	
名	古	屋	・(450)	名古屋市中村区堀内町 4-1 (毎日会館)	(052) 581-3811
大	阪	・(530)	大阪市北区梅田 2 (第一生命ビル)	(06) 341-9335	
京	都	・(604)	京都市中京区御池通間之町東入ル (東邦生命ビル 5 階)	(075) 241-0216	
金	沢	・(920)	金沢市尾張町 1-11-14 (住友生命ビル 3 階)	(0762) 32-1711	
高	松	・(760)	高松市番町 2-17-15 (第二讀機ビル 1 階)	(0878) 51-7121	
岡	山	・(700)	岡山市中山下 1-9-40 (新岡山ビル 5 階)	(0862) 22-8228	
広	島	・(730)	広島市小町 2-30 (第二有楽ビル 4 階)	(0822) 44-4615	
福	岡	・(812)	福岡市博多区博多駅前 4-20-23 (セントラルビル 1 階)	(092) 411-4172	

PUB.IJ1032B

1175N49

PRINTED IN JAPAN

ご注意

- キヤノライトEDを使用するときは、絞りノブを室内マーク(☒)にセットして下さい。
- EE撮影のときはキヤノライトEDを取りはずして下さい。

このシールをカメラまたはケースに貼りつけてご利用ください。

Notice

- When using the Canolite ED, set the aperture scale to the ☒ mark.
- Remove the Canolite ED when performing EE photography.

Please stick this seal to your camera or its case.